小論文　［獣医学院・国際感染症学院共通］ 氏名

　次の課題について，3,000字程度で考えをまとめること。

“One World One Health”とは，2004 年に Wildlife Conservation Society が提唱した Manhattan Principles の中で述べられた概念であり，その中で，ヒト，伴侶動物，生産動物，展示動物および野生動物の健康を含めた生態系の健全性の維持のためには，学際的かつ領域横断的な取り組みが必要であることを述べている。

１．最初に，“One World One Health（もしくは Zoobiquity）”という概念に対する貴方の考えを述べ，次に，貴方が大学院で修得しようとしている専門分野について何故その分野に興味があるかを含めて説明し，その専門分野の知識と技術がどのように One Health（もしくは Zoobiquity）に貢献できるか考えを述べなさい（2000 字程度）。

２．博士課程を修了した後のキャリアプランについて，現在考えていることを記述しなさい（1000 字程度）。

（複数ページにわたる場合はページを追加してください）

|  |
| --- |
|  |

研究計画 氏名

研究題目，背景，目的，方法，期待される成果などについて2,000字程度で記述しなさい。必要に応じて図表を加えても良い。

（複数ページにわたる場合はページを追加してください）

[研究題目]

[背景]

[目的]

[方法]

[期待される成果]

研究等活動調書 氏名

（複数ページにわたる場合はページを追加してください）

１．これまでの研究活動の概要（800字程度）

２．これまでの研究活動実績（学会発表・論文発表等の活動）を記載してください。

原著論文

記入例：Song C.-H., Honmou, O., Furuoka, H. and Horiuchi, M. Identification of chemoattractive factors involved in the migration of bone marrow-derived mesenchymal stem cells to brain lesions caused by prions. J. Virol., 85: 11069-11078, 2011（提出時には削除してください）

著書

記入例：堀内　基広　医科ウイルス学(高田賢蔵　編)　スローウイルス感染症とプリオン病　pp437-449, 2009　南江堂（提出時には削除してください）

学会発表

記載例：Sassa, Y., Yamasaki, T., Hasebe, R., and Horiuchi, M. Characterization of prion infection in differentiated mouse neurospheres. Prion2011 (May, 17-19, 2011, Montreal, Canada) （提出時には削除してください）

記載例：（提出時には削除してください）山崎剛士，鈴木章夫，長谷部理絵，堀内基広　クラスリン依存性エンドサイト−シス阻害剤処理によるPrPScの細胞内局在の変化　第58回日本ウイルス学会　徳島　2010年11月7日（提出時には削除してください）

その他（特筆すべき事項があれば記載してください）

指導予定教員評価書

|  |  |
| --- | --- |
| 受験者氏名 |  |
| 指導予定教員 | （氏名）　　　　　　　　　　　　　（所属）　　　　　　　　教室・部門等 |
| 研究題目 |  |
| 総合評価 |  |
|  | 令和　　年　　月　　日指導予定教員　署名：　　　　 　　　　　　　　印　 |

* 受験者にこの評価書を渡す際は封筒に厳封して渡すこと
* この評価書は，これまでの交流や打ち合わせ等を踏まえて作成すること